

有償運送許可証に係る研修会



9月7日（月）、名古屋市昭和区にある愛知県自動車会館5階会議室において、3年に一度開催の「積載車の有償運送許可証に係る研修会」が行なわれて、33社（41台分）が参加されました。

講師は、当組合の教育委員の「古田篤史」氏が担当し、有償運送許可制度の主旨・概要説明、安全対策の説明、ハイブリット車等の取扱い、各種関係法令を講義しました。→→→

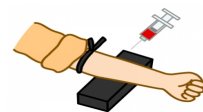
今後、愛車協事務局において、日車協本部へ研修会実施報告を行い、その後、愛知運輸支局へ有効期間の更新申請の手続きを行います。愛知運輸支局から3年の許可証が発行されましたら、愛車協から申請事業者様へ許可証を郵送させていただきます。

なお、有効期間が切れた旧許可証は、下記の愛知運輸支局輸送担当あてまで返送していただくようお願いいたします。

〒454-8558 名古屋市中川区北江町1-1-2 愛知運輸支局 輸送担当あて



前期巡回健康診断終了



名古屋セントラルクリニックの前期巡回健康診断（一般・有機溶剤・特定化学物質等）は、11地区において、8月19日から21日の3日間に43社227名が受診されました。

今年は新型コロナウイルスの感染予防の観点から、事前の健康管理チェック・検温・手の消毒・マスク着用と受診者様にはご理解ご協力を頂きまして、心より感謝申し上げます。

また、施設を提供して頂きました組合員様には深く感謝申し上げますとともに、不手際もあったかと思いますが、どうかご容赦の程よろしく申し上げます。



（写真：8月21日、39人受診の昭和地区での愛知県自動車会館5階会議室とレントゲン車）



特定整備工場の申請状況

4月施行の特定整備工場制度開始に伴い、愛車協組合員においても「整備主任者等資格取得講習」を受講され、電子制御装置整備の特定整備工場の取得及び自動車特定整備事業の変更申請を愛知運輸支局へ申請提出しているところです。

愛車協で把握している、8月末現在の取得済事業者数等は、以下のとおりです。

- ①整備主任者等資格取得講習者数：55人
- ②新規電子制御装置整備の特定整備工場取得者数：2社
- ③自動車特定整備事業の変更申請の提出事業者数：4社



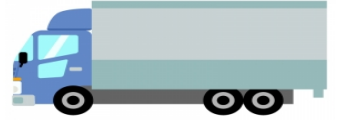


自動車点検整備推進運動



国土交通省では、自動車関係団体などの協力を得て「自動車点検整備推進運動」を全国的に展開します。特に、中部運輸局管内では9月、10月を強化月間として、エコ整備の啓発及びタイヤに起因する事故防止のための啓発を重点項目に追加して、自動車ユーザーに保守管理の徹底を推進していきます。

自動車ユーザーに適切な点検・整備の実施の必要性を理解して、大型車にあっては、車輪脱落事故に繋がるホイールの取付状態、車体フレームの腐食状態、車両火災の発生部位となっている燃料装置や電気配線等の装置等について、より確実な点検・整備の実施を求めていくよう入庫された自動車ユーザーに、保守管理の徹底をお願いいたします。



全国労働衛生週間の実施

愛知労働局では、令和二年度（第71回）全国労働衛生週間を10月1日から7日までの間、全国的に展開します。

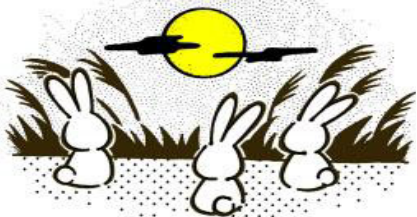
今年のスローガン「なおして 職場の環境 からだの環境」を掲げて実施しますので、事業場における自主的な職場の総点検の実施と、労働者の健康確保に努めていただくようお願いします。



残暑のつぶやき☆倒産と廃業

今月は、経営者にとって口に出したくない「倒産」と「廃業」の話題です。新型コロナウイルスの影響で色々な業種の倒産又は廃業が続出しております。倒産とは、資金繰りなどの影響で経営が続けられないことを言います。廃業とは、経営者が自主的に会社経営をやめることを言います。

東京商工リサーチの調査では、2017年の自動車整備業界の倒産は72件で、このうち、個人企業の倒産が20件と全体の約3割を占め、従業員数別では5人未満が56件で約8割を占めるなど、小・零細規模の倒産が目立っております。



なお、「休廃業・解散」は289件と、倒産の4倍に達し、過去10年間で最多になりました。

廃業は、若者の車離れが進む中で、整備士不足や事業主の高齢化、後継者難など、取り巻く経営環境が一段と厳しさを増している状況から町の自動車修理工場を中心に、事業継続を断念し、休廃業・解散に踏み切るケースが増えているとみられています。

また、財政が厳しくて続けられない方よりも「自主的にやめる方」が多く、自主廃業した方の半数が黒字経営であるらしい。倒産ともなると、倒産手続き費用の捻出のためにアルバイトし費用を稼ぐことにもなりかねないです。

廃業にしても倒産にしても、従業員の再就職先を探したり、取引先に迷惑をかける等、負の遺産も相当なものですね。



経営者にとっては、とても辛い話ばかりですね。

少なくとも現在の新型コロナウイルス禍の大不況の中、一日も早く収束し、以前以上の景気拡大に繋がっていくことを願うばかりです。

あと暫くの辛抱なのか？ 誰か教えて？ m()m (y. m)

